

前期終了 さらなる高みを目指して後期を迎えよう

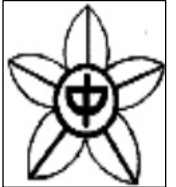
終業式校長講話

「相田みつお」さんという詩人の作品に『人間はねえ、人から点数をつけられるためにこの世に生まれてきたのではないんだよ。人間が先、点数が後』という詩があります。中学校を卒業するときには、高校受験が待っています。受験では入学試験の点数と中学校から送られる中学時代の成績で、合格・不合格が決まります。確かに「人間先で点数が後」には間違いはないのですが、点数を無視することはできません。自分の夢や目標を達成するために、学力を身に付けることは大切なことなのです。

今日、各教室で担任の先生から、皆さんが楽しみにしている通知表をもらいます。通知表には、皆さんがこの6ヶ月間、どのような学校生活を送ってきたか、学習面を中心に1～5までの5段階で示してあります。1年生にとっては、初めての5段階評定です。学習に対して自分がどれだけ努力できたかどうかの一つの目安として受け止め、来週から始まる後期の学習目標を立てるときの参考にしてください。また、通知表には「数字」だけでなく、担任の先生方がみなさん一人一人にメッセージを書かれています。私は、君たち全員への文章を読みました。君たちの長所や頑張っていた点、「こうすればもっと良くなるよ」といったアドバイスなど、とても詳しく書かれています。担任の先生方は、君たち一人一人をしっかり見ておられます。ぜひ、通知表の「数字」の部分だけに目を奪われるのではなく、担任の先生が書かれた「数字より先の人間の部分」に目を向け、その言葉を励ましの言葉と捉えて、後期は更に自分を高めていって欲しいと思います。

前期の終業式に当たり、今年度の半年間の学校生活を振り返ってみると、毎日の授業やテスト前の取り組み、自学、提出物の状況、体育大会などの行事など、みんなの頑張りがたくさん見られた前期でした。しかし、課題がないわけではありません。あいさつや返事の声が弱くなったこと、人間関係のトラブルや周りの人に対しての心ない言葉や行動があったこと、不要物の持ち込みなどがあったのも事実です。これらの課題を反省し、同じ失敗を繰り返さないようにしてください。そして、今週の月曜日の生徒集会で「ONE FOR ALL OLL FOR ONE」「みんなは「みんなはひとりのために 一人はみんなのために」と話しました。「ひとり」を自分に、「みんな」を学級に置き換えると、「学級は自分のために 自分は学級のために」となります。私はさらに次のように言い換えてみます。『自分の学級は、自分を成長させてくれましたか…?』、そして『自分は、学級のために何か貢献しましたか…?』ということを振り返り、後期に生かしてください。節目のこの時期、自分と学級の姿を見つめ直し、学級目標の達成を目指してください。後期の学校生活が充実することを期待します。

菊水中学校便り



夏休み明けから約一ヶ月半が過ぎ、前期の終業式を迎えました。この一ヶ月半



期末テスト

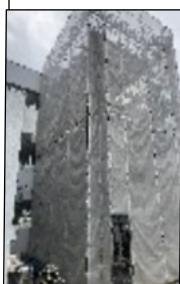


職業講話

の間にも以下のように多くの行事がありました。これらの行事を通して、変化の激しい今後の社会を『生きる力』を身に付けさせていきます。来週の文化祭もご期待ください！

エレベーター工事

夏休み前からエレベーター設置工事と校舎周りのバリアフリー工事が行われています。完成は来年の2月



です。大きな音が出る工事は土日に行われています。感謝！



民生委員学校訪問



英語検定



認知症講座



高校説明会